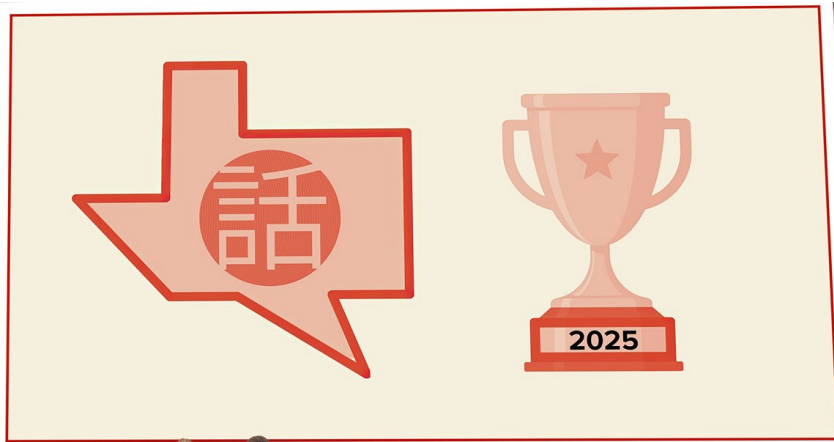


## 第36回テキサス州 日本語スピーチコンテスト



コンテスト参加者全体写真

第36回2025年テキサス州日本語スピーチコンテスト(以下、大会)は3月8日土曜日、在ヒューストン日本国総領事館及びヒューストン日米協会の共催により開催されました。本大会のテーマは、来月大阪で開催予定のEXPO2025大阪・関西万博であり、この国際的なイベントのテーマは日本語・日本文化の学習目的と共鳴します。大会にはテキサス各地区大会の上位入賞者32名とオープン部門の参加者3名、合計35名が参加し、ボランティアや日本人団体代表の審査員、ゲストを含め多数が会場のライス大学ハズベスホールに参集し賑わいました。



▲開会式での長沼総領事挨拶

大会は、大阪出身でヒューストン在住の学生による大阪弁の紹介から始まりました。この紹介により、大阪万博が目指す「未来社会」における言語の多様性と文化の重要性を改めて感じさせられました。スピーチは前半の高校スピーチ全米オーロラ大会出場者選考部門や俳句部門から始まり、後半では課題詩部門、大学部門、オープン部門と滞りなく進行了。中でも、スピーチの方言や国際文化の多様性について触れた発表は、大阪万博の「共生の未来」というテーマに共鳴し、参加者が日本語学習・文化や言葉を通じて困難に立ち向かう勇気や教訓を学んだことが伝わりました。また、日本のアニメやゲームがきっかけで日本語に興味を持ったという参加者の発表も、EXPO2025での「デジタル技術と未来の交流」というテーマと重なり、特に印象的でした。スピーチ後の口頭質問も、審査員との対話から共感が生まれる場面が見られました。



▲コンテストの様子

発表終了後、参加者はEXPO2025大阪・関西万博に関連したクイズに挑戦し、大阪文化を学びながら万博キャラクター「ミyakumiyak」グッズを通じて和気あいあいと交流しました。このように大会は、参加者同士が学び合い、コンテストのテーマも共有する貴重な場となりました。また、大会の成功は、ヒューストン各団体からの支援とボランティアの皆様の尽力によるもので、心より感謝申し上げます。



▲休憩時間

大会授賞式では、支援団体代表の方々のご出席のもと、テキサス州日本語教師会から課題詩部門、ヒューストン日本商工会から俳句部門、グレーターヒューストン日本人会から高校スピーチ全米オーロラ部門、ヒューストン日米協会から大学部門とオープン部門の上位入賞者にそれぞれ賞状と賞金が贈呈され、さらに参加者全員にも参加証書が授与されました。賞金に加え、各団体の代表者審査員のご協力に厚く御礼申し上げます。引き続きのご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

入賞者の皆様には、今後も日本語と日本文化を学習し、日米両国の架け橋となり、文化交流と相互理解に努めていただけることを心より祈念しております。また、入賞された生徒と学生のご家族、日本語教育に携わる教師の皆様の努力の成果にお慶び申し上げます。



▲審査員の根本氏(JBAH)

大会入賞者発表は[こちら](#)

(佐藤裕子(ライス大学)  
ヒューストン日米協会スピーチ  
コンテスト実行委員会)

### 令和6年度(2024-2025)3月 商工会理事委員会 議事録

日時：2025年3月19日(水)12:00~13:45  
会場：三水会センター会議室(ハイブリッド形式)  
出席者：17名(うち名誉会員2名、理事委員11名、代理1名、オブザーバー1名、事務局長2名)

欠席者：5名(うち第一副会長委任4名、代理委任1名)  
会長が欠席のため、議決については川上第一副会長に委任

\*会員消息  
2025年3月15日現在の会員数は名誉会員12名、正個人会員909名(正団体会員数:117社)、准会員58名、総会員数979名。  
議事録と会員消息の詳細は、商工会HPの[「会員専用ページ」](#)を参照。